

# 鐘の音

さいたま市男女共同参画推進センター  
パートナーシップさいたま  
広報誌vol.17

kane-no-ne

2009.3

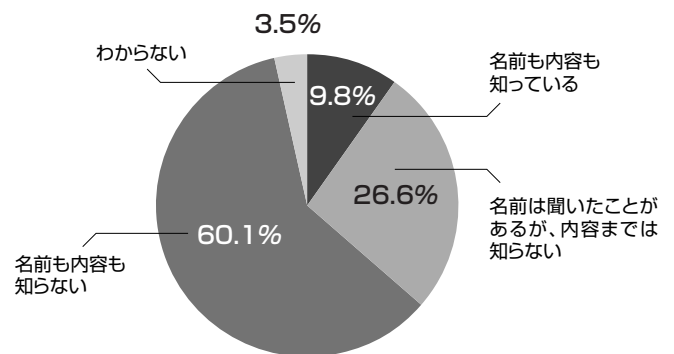
<b>特集</b>	<b>学びあい 語りあい 集いあう</b> .....	<b>2</b>
	平成21年度 パートナーシップさいたま 講座・講演会予定	
	● Pick up ワーク・ライフ・バランスって何? .....	<b>3</b>
	● 「第8回女・男フェスタさいたま」を開催しました	
	● 愛情と暴力を間違えていませんか? .....	<b>4</b>
	● ただいま活動中 「女性起業家の卵」	
	● 女性の悩み相談 相談室から .....	<b>5</b>
	● 第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプランの取組が始まります	
	● Book Navi 図書のご案内	
	● 施設・相談のご案内 / ほっとたいむ .....	<b>6</b>

## コラム 数字 9.8

この数字は、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の「名前も内容も知っている」人の割合です。「名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」という人と合わせても40%に満たない認知度です。最近マスメディアなどでしばしば取り上げられるようになってきてはいるものの、約60%の人が「名前も内容も知らない」という結果でした。

「ワーク・ライフ・バランス」については、P.3の「Pick up」で特集をしていますので、どうぞご覧ください。

「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の認知度



内閣府「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する特別世論調査」から(平成20年6月)

# 学びあい語りあい

## 集いあう



### 平成21年度 パートナーシップさいたま 講座・講演会予定

性別にとらわれず、自分らしく輝いて生きるためのヒントがここにあります。  
パートナーシップさいたまの講座・講演会に参加してみませんか？

講座名	内容	実施時期・回数	会場	対象
創造的なグループワークと情報発信	実のあるグループワークと会議の進め方、魅力的なキャッチコピーの作り方などを学び、編集につなげます。男女共同参画のグループ運営に役立ちます。	5～6月 3回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤・在学の 男女24名
仕事に活かせるパソコン講座	性別をこえて能力発揮するために、再就職活動と仕事に活かせるExcel講座を、平成21年度は2回実施します。	5月～6月・11月 (同じ内容) 各3回	生涯学習総合 センター OA研修室	市内在住で、キーボード 操作ができる男女20名
男女共同参画週間記念講演会	テーマに向かって、男女共同参画の姿勢で取り組むと、どんな可能性が開けるのか、講師のお話から考える機会とします。	7月 1回	生涯学習総合 センター 多目的ホール	一般180名
女性のための再チャレンジセミナー	出産・子育て・介護のために仕事を辞めてしまったけれどもう一度働きたい…そんな女性のキャリアアップを支援します。	7月 2回	パートナーシップ さいたま	市内在住の女性24名
男女共同参画トレンド社会学	メディア・リテラシー・食育・環境・子育て支援・結婚～男女共同参画の視点で私たちの暮らしをふり返ります。	7月・11月・3月など 年に複数回実施	・コムナーレ ・パートナーシップ さいたま ほか	一般(定員は各会場に よって異なります)
女性カレッジ	女性問題や男女共同参画社会について継続的に学び、理解を深め、問題解決の道を探ります。	9月～11月 8回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤・在学の 男女24名
市民企画講座	さまざまな分野で活動している団体が、男女共同参画を推進することを目的として講座を企画・実施します。	9月～1月	パートナーシップ さいたま ほか	未定
離婚・それがベストの選択ですか	やむなく離婚を考えざるを得ないとき、正しい知識が身を守ります。基礎から法律的な社会制度まで学びます。	10月 4回 (2回×2カ所)	パートナーシップ さいたま ほか1カ所	パートナーシップさい たま…市内在住・在勤・ 在学の男女24名
女性に対する暴力を考える講演会	隠された犯罪と言われるDV(ドメスティック・バイオレンス)を根絶する道を探ります。	11月 1回	未定	一般(定員未定)
男性カレッジ	「社会的・文化的につくられた性としての男性」について理解を深め、女性と共により良いワーク・ライフ・バランスを実現することを目的とします。	1月～2月 4回	パートナーシップ さいたま ほか	市内在住・在勤・在学の 男性(定員未定)
ひとひと女・男ブラザ主催連続講座(仮)	未定	未定	プラザイースト	市内在住・在勤・在学の 男女30名

※このほかにも講座を企画しています。詳細につきましては、市報さいたま、ホームページなどで逐次お知らせします。

Pick up



# ワーク・ライフ・バランスって何？

パートナーシップさいたまでは今後、「ワーク・ライフ・バランス」に関連した講座の開催に力を入れていきます。

しかし、表紙の「コ・ラ・ム数字」で取り上げたように、約60%の人が名前も内容も知らないという現状があります。

そこで、最近マスメディアなどで聞かれるようになってきたこの言葉を少しだけ解説します！

「ワーク・ライフ・バランス」は「仕事と生活の調和」と訳されます。現在、特に子育て期にある男性が長時間労働を強いられ、その一方、家事・子育て・介護などの多くを女性が担っています。このような状況の中、性別にとらわれず自分らしく、人生の各ステージにおいて仕事や家庭生活、趣味などバランスの取れた生活を送ることで、心豊かに過ごすことを表します。

また労働の面からみると、個人だけでなく企業、ひいては社会経済にとってもメリットがあるとされているのです。“従業員の仕事に対する意欲が高まり優秀な人材の確保につながる”“効率的に仕事を進めるようになるためコスト削減を図れる”などの効果があり、世界中で徐々に広がっています。

さて、「コ・ラ・ム数字」にも取り上げた内閣府の特別世論調査によると、

- 男性の方が女性より「ワーク・ライフ・バランス」の名前を知っている
- 年代別にみると、20歳代から60歳代までは年代が高くなるほど名前を知っているという特徴もみられました。



さいたま市では平成21年4月から施行する「第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン」において、「ワーク・ライフ・バランス」の推進を重点事項に掲げています。パートナーシップさいたまでも、「ワーク・ライフ・バランス」に関連した講座をさまざまな形で行う予定です。最新情報は市報やホームページでお知らせします。

## 第8回

# ひとひと 女・男フェスタさいたまを開催しました

さいたま市における男女共同参画を呼びかけ進めるために、1月10日(土)・11日(日)シーノ大宮センタープラザ9階・10階において、さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会とさいたま市の共同開催により「第8回女・男フェスタさいたま ～輝こう!私らしく、あなたらしく～」を開催しました。

参加団体は9階で1年間の活動報告の展示やワークショップを行い、10階の多目的ホールではコンサートなどのステージ発表をしました。また、10日には登山家の田部井淳子・政伸さんご夫妻による講演とトークが行われました。淳子さんのテンポのよいお話に満員の会場から時折笑いが起こり、夫の政伸さんも登場されると、夫婦円満の秘訣などが語られました。11日には映画「フラガール」が上映され、2日間でのべ1,100人の来場者は思い思いに楽しめたようです。



▲田部井さんご夫妻のトークの様子



▲さいたま市施策PRキャラクターの「ヌゥ」も来てくれました

### ★「鐘の音」編集員によるレポート★

#### 「第8回女・男フェスタさいたまが終わって」

女・男フェスタさいたまが10・11日に開催された。関連の記事が9日の新聞に掲載されたこともあって、照会の電話が事務局に多数あったということだった。

10日に、田部井淳子さんの1時間の講演のあと政伸さんが登壇、30分間夫妻のトークがあった。淳子さんのニューギニアの登山のときからの体験では、現地の人々の森林の中をはだして歩く姿から、人体のあらゆる部位を駆使して行動しているか見張られるばかりだったようだ。食事はいもだけで、大地を掘ってバナナの葉で包み蒸したものだ。ご自分の日常生活が反省されたとのことだった。お2人に第2の人生についてどうお考えになっているかという質問に、お互いに理解し、やりたいことをやれる幸せと答えられた。示唆に富んだ内容のものだった。

9階がワークショップ、展示の会場で、展示で目についたのは、現在のテーマ「ワーク・ライフ・バランス」(女と男いきいきネット)だった。意義、背景、日本、各国の動きなど簡潔に解説、展示されていた。さいたま浦和地区更生保護女性会の“立ち直る君を待っている”社会を明るくする運動の写真と日常活動の展示があった。

展示を見てフェスタも大切だが、日常の活動も大事だと認識させられた。

(武藤勝美)

# 愛情と暴力を間違えていませんか？

## ～ 隠れた犯罪 DV (ドメスティック・バイオレンス) ～



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など親密な関係にある相手からの暴力のことで、被害者の多くが女性です。これは暴力の性質上表面化しないことが多いため「隠れた犯罪」と言われ、重大な人権侵害にもあたります。

パートナーシップさいたまでは、これまでDV防止のための講座の開催や相談事業を行ってきましたが、平成21年度もさらにさまざまな形で問題に取り組んでいきます。ここでは、昨年11月に開催した「DV防止フォーラム2008」の報告をもとに、愛情と暴力について考えてみませんか。

平成20年11月9日(日)、さいたま市男女共同参画推進センター(パートナーシップさいたま)と埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)との共催により、DV防止フォーラム2008「愛情と暴力を間違えない方法 一夫・恋人のDVを見抜く一」が開催されました。

講師の沼崎一郎・東北大学大学院教授はまず、命の危険にまで及んだ女性のDV被害体験談のビデオを流し、DVの残虐な実態を伝えました。次に、昨年ケータイ小説で人気を博したテレビドラマから、高校生カップルの日常として描かれた場面を選んで解説し、「いきなりキスしたら強制わいせつ罪」「髪の毛をクシャクシャにすれば暴行罪」など、すべてのDVは犯罪であると明言しました。

### 講演のエッセンス

●加害者(圧倒的に男性)はなぜ暴力を選ぶのでしょうか。多くの加害者は、小さい頃からテレビや家庭内の暴力の場面を見て、暴力が相手のコントロールの方法だと学習します。また、支配者としてのメンツを実感できるなど“暴力のウマミ”を覚えるため、弱者、つまり女性と子どもがターゲットになってしまうのです。

#### ●暴力とは、まとめると

- ①自分が強いのをいいことに、
  - ②痛めつけたり、そうすると脅かして、
  - ③相手を言いなりにさせること。
- つまり「怖がらせ、あやつる力」です。

●赤の他人に対する犯罪ではすぐに逮捕されるのに、妻や子どもに対する犯罪だとなかなか逮捕されないのはおかしいことです。

●愛情と暴力を間違えないでください。そのためには、自分のことだけ考えるのではなく、相手のことを考え、相手に関心を持ち、あやつろうとしないこと。また、相手を信頼し対等の関係になることが必要です。そして、男女ともに甘えを脱し、精神的・生活的・経済的に自立することも必要です。

\*\*\*\*\*

「第2次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン」の重点事項には、ワーク・ライフ・バランスの推進と並び、「女性に対するあらゆる暴力の根絶と被害者の自立支援」が掲げられています。

このため、パートナーシップさいたまにおいても高等学校への「デートDV予防と啓発のための出前講座」やDV防止のための講座の実施を予定するなど、今後も力を入れて取り組んでいきます。最新情報は市報やホームページなどでお知らせします。

http://ameblo.jp/jose  
kigyoukanotamago/  
会長(染谷和子)

「女性起業家の卵」  
これからも、引き続き女性に寄り添いサポートできる活動をして参ります。



▲ 1月に開催した市民企画講座の風景

在勤・起業し、お互いが持つ能力・知識をわかちあい、助け合う中で人間的に向上を目指す女性達です。

働くことを「自分磨き」の場と考え、情報交換とさまざまなきっかけ作りをしております。なお、毎月第2土曜日は、主にパートナーシップさいたまにて定例のミーティングを行っております。平成21年1月には、パートナーシップさいたまの市民企画講座にて「自分らしく働きたい女性のためのワークシヨップ」を開催しました。

「女性起業家の卵」は、平成18年2月に行われたパートナーシップさいたま主催の「女性のための起業セミナー」の受講生の有志で「情報交換」「自己研鑽」を目的に発足致しました。メンバーは、埼玉県在住、もしくは

ただいま活動中  
**「女性起業家の卵」**  
パートナーシップさいたまで活動中の男女共同参画グループを紹介します

## 「先生ではありません」

よく、相談員のことを『先生』と呼ばれる方がいらっ  
しゃいます。しかし、私たちと皆さんの関係は先生と  
生徒ではありません。相談業務は「これをしなさい」  
などと、皆さんの生き方に対して相談員自身の意見  
を押し付けるようなものではあってはならないと考  
えているためです。

しかし、今まで他者(家族・友人・恋人・先生・近所  
の人など)に言われるままに自分の人生を歩んできた  
ので、「これをしなさい」と言ってくれないと困る  
という方も多くいらっしゃいます。また、今では本や  
雑誌、インターネットから様々な情報を得られるよう  
になった反面、余計悩むようになったのかもしれま  
せん。もちろん悩むということはとても良いことだ  
と思います。しかし悩みすぎて悪循環のドツボにハ  
マってしまった時、1つの頭で考えるより「私」と「あ  
なた」という2つの頭で考えてみるのもいいと思い  
ますよ。もちろんそこで明確な答えが見つかるとは  
限りませんが、あなたの悩んでる気持ちを吐き出す  
ことで、少し楽になれるかもしれません。

一緒にあなたらしい生き方について考えてみま  
せんか？

(婦人相談員E)

## 第2次

# さいたま市 男女共同参画のまちづくりプラン の取組が始まります

さいたま市が男女共同参画社会の実現に向けて、  
平成21年度から取り組む新しい基本計画「第2次さ  
いたま市男女共同参画のまちづくりプラン」が策定  
されます。

第2次プランは、本誌でも紹介した男女共同参画  
推進協議会からの「提言書」を尊重し、市民意識調査  
結果や昨年11月に実施したパブリック・コメントの  
結果を反映した内容となっています。

本市は、この4月からの5年間、第2次プランに掲  
げた施策や事業を、市民と事業者の皆さんとの協働  
により、総合的かつ計画的に進めていきます。



力を合わせて  
取り組もう!

プランは、市役所7階男女共生  
推進課、パートナーシップさい  
たま、女<sup>ひと</sup>男<sup>ひと</sup>プラザ、各区役所情報公開コーナー、  
各図書館、市のホームページでご覧になれます。  
(公開は4月1日以降となります)

## 問合せ

さいたま市 男女共生推進課

電話:048-829-1231 FAX:048-829-1969

Eメール:danjo-kyosei@city.saitama.lg.jp

## Book Navi

情報・資料コーナーで貸し出ししている図書のご案内です。

### 『女と男の更年期』

小山高夫著 2008年 <誠文堂新光社>

「更年期」というと主に女性特有のものと思われていたが、  
近年それは男性にも同様にあるという考え方が広がってきて  
いる。そもそも更年期とは、女性の場合、加齢による卵巣機能  
の低下からホルモンの代謝に変化が生じ、個人差はあるが不  
定愁訴といわれる様々な症状が出てくる時期をいう。さらに  
それは、家庭や職場などの環境要因や本人の気質も影響して  
くる。一方、男性の場合ホルモンの変動が必ずしも伴う訳では  
なく、環境要因や本人の気質がより強く影響してくるという。  
また最近では、過度のストレスや生活習慣が原因と考えられ  
る30代~40代前半の「若年性更年期」の女性も増えてきて  
いるそうだ。

本書では、それぞれの更年期に関する基礎知識から治療・  
予防法、その体験例などを紹介し、女性・男性共に誰もが通る  
人生の曲がり角をうまく乗り越える為の「相互理解」と、その  
後の「自立した生き方」が豊かな人生を送る為のキーワード  
と述べている。 (土屋多万緒)

### 『男の復権 —— 女は男を尊敬したい』

池内ひろ美著 2006年 <ダイヤモンド社>

第一章は「大人の男になるための十箇条」で、第一条の「男  
の立ち姿は美しくあってほしい」の中に「頭皮にある毛髪の数  
が多い少ないと一喜一憂するよりも、ときには頭の中身の濃  
い薄いに気を配ってみようよ。」とあり、なるほどと思う。

第四章の見出しに“お父さん、読書していますか?”とあり、  
その中に「父親も息子に対してほとんど無視状態になりかけ  
ている。」と記述されている。11月に大宮つげの会が企画し  
た講座で長く県政に貢献された藤井正子氏が、アメリカの詩「父  
は(前略)世界は広い やることは沢山あることを教えなさい」  
の説明をされた。表現はちがっても同じことだと思った。

最近、秋葉原で残忍な犯罪が起きたが、その犯人と父親と  
の関係、父親はこのことを怠っていないからだろうか、このこ  
とがこの社会問題の一因であるように感じている。

全巻を通して“男の魅力”へのリード・激励の内容になって  
いる。 (武藤勝美)

施設のご案内

	パートナーシップ さいたま	ひとひと 女・男プラザ
場所	大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮 センタープラザ3階	緑区中尾1440-8 プラザイースト3階 <small>※浦和駅東口よりバス、「緑区役所入口」下車 又は東浦和駅よりバス、「プラザイースト南」下車</small>
開館 時間	平日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館 日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始
施設の利用		
男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。 (パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと ひとひと女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)		
情報・資料コーナー、交流コーナー		
本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。 閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用 できる交流コーナーもあります。		
お問い 合わせ	048-642-8107	048-875-9966

相談のご案内

● 女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-643-5813
月～金/10:00～20:00 土・日・祝/10:00～16:00	
ひとひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9653
金/10:00～17:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎ 048-829-6129
月・火・水・金/10:00～17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎ 048-840-6132
月・水/10:00～17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎ 048-790-0158
月・水/10:00～17:00	

● 法律相談(予約制) 女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第2・第4水曜日/13:00～15:30	
ひとひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9966
第1・第3火曜日/13:00～15:30	

● 心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第4火曜日/13:30～16:30	

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

ほっとたいむ



今、マラソンにハマっています。  
偶然訪れた公園でラジオ体操をやっていた。朝、ラジオ体操に遅れまいと早歩きから小走りに、ジョギングに変わっていきました。走り始めた頃はすくすく苦しくなって、走ってはすくすく歩きの繰り返し。どうしたら楽しく走れるか、高橋尚子さんのように笑顔でゴールをイメージしつつ、時間を重ねて距離が伸ばせるようになりました。そして昨年は〇キロマラソン完走。

昨今、女性ランナーが増えているそうです。どうして走るのかの問いに、一歩踏み出せばゴールに近づくから、達成感が味わえるから：それに加えて心が強くなれそうな気がします。  
心と身体の健康を保ちながら今日も走ります。  
(安藤ちか子)

古い新聞記事で恐縮。朝日新聞の日曜版『日曜ナントカ学』に「群集の動きに単純な法則」という面白い記事があった。

スクランブル交差点の歩行者や、海中のイワシの群れ、夕暮れに大塊で旋回するムクドリなどの複雑そうな群れの動きが、実は単純なルールで動いているらしいとか。

さらに米国の某プログラマーの説によると、そのルールは①近くの仲間と進む方向や速度を合わせる②仲間と近づきすぎず、離れすぎず一定に保つ③仲間がたぐさっている方向へと向かう。という単純さなのだ。

この『鐘の音』誌などが求めることは、当然のことのように思えるが難しい。

地道な努力の積み重ねで、早く単純なルールが適応される時期になればよいとも思う。

(飯塚喜一郎)

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。  
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで  
お願いします。

《誌名「鐘の音」》  
大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.17 2009年3月25日発行  
＜編集・発行＞

さいたま市男女共同参画推進センター パートナーシップさいたま  
編集員/安藤ちか子・飯塚喜一郎・土屋多万緒・樋山睦子・武藤勝美  
〒330-0854さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階  
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801  
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp  
7・11・3月発行(年3回)

